

会員各位

2023年度 第2回(通算118回) 造粒分科会 技術討論会 開催のご案内

一般社団法人	日本粉体工業技術協会	造粒分科会	
コーディネーター	中央大学教授		村瀬 和典
副コーディネーター	関東学院大学		武井 孝
代表幹事	(株)ダルトン		小泉 一郎
担当幹事	ライオン(株)		志波 徹朗
	(株)栗本鐵工所		藤井 淳

テーマ：「SDGs 脱炭素に関わる造粒技術」

造粒技術は数多くの分野において、その技術を支えています。当分科会では「粒を造り、粒を制御する」という観点から、粒や粒子の制御に関わる業界先端技術を討論の場に挙げることによって、参加された皆様が普段抱えている問題をブレークスルーするヒントとして頂きたいと活動しております。

今回は「SDGs 脱炭素に関わる造粒技術」というテーマで、持続可能な開発目標として脱炭素に関わる造粒技術、ノウハウ、実例等について、中央大学講義室で技術討論会を行います。

是非、ご参加ください。

1. 日 時：2024年3月1日(金) 12:30~19:00 (受付開始 12:00~)

2. 会 場：中央大学 後楽園キャンパス (3号館3階3300講義室)

3. プログラム

(1) 開会挨拶・連絡事項 (12:30~12:35)

(2) 講演 1 (12:35~13:20)

「乾式複合化技術を用いた全固体電池の高性能化」

大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 化学工学分野 仲村 英也 氏

全固体電池は、高安全、高容量、高速充電が可能な次世代電池として注目を集めており、特に電気自動車などの大型蓄電池用途への社会実装が強く期待されている。全固体電池の社会実装に向けたボトルネックの一つは、その製造プロセス開発である。ここで、全固体電池は全て固体材料、すなわち粉体材料から構成される電池であるため、粉体技術が、製造プロセスにおいて重要となる。我々のグループでは、粉体プロセス技術を適用した全固体電池製造プロセスの開発に取り組んできた。その中から、本講演では、乾式複合化粒子設計技術(広義の意味での乾式造粒技術)を開発し、全固体電池の電極材料を加工・高機能化した研究事例をご紹介します。

(3) 講演 2 (13:20~14:05)

「球状シリコン結晶の製造方法と球状太陽電池について」

スフェラーパワー株式会社 創業者・代表取締役会長 中田 仗祐 氏

現在、顆粒状のシリコンを熔融し、結晶化した直径2mm弱のシリコンを用いて、球状太陽電池を製造している。この球状結晶製造方法と球状太陽電池について紹介する。

(4) 講演 3 (14:05~14:50)

「未利用低温排熱の有効活用を可能とする粘土系吸着剤とその造粒技術」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 地圏微生物研究グループ

宮原 英隆 氏

粘土系吸着剤「ハスクレイ®」を工業用蓄熱システムへ適用することで、未利用低温排熱の有効活用が可能となり、省エネ・二酸化炭素の低減が期待される。蓄熱システムに最適となる粘土系吸着剤とその造粒技術について紹介する。

休憩 (10分) 14:50~15:00

(5) 講演 4 (15:00~15:45)

「造粒蓄熱材の紹介」

大阪ガスケミカル株式会社 活性炭事業部 グローバル R&D イノベーションセンター
テクニカルイノベーションチーム チームマネージャー
岩崎 邦寿 氏

弊社では潜熱を利用した蓄熱造粒ペレットを開発した。当該材料と吸着材とを混合することで、吸脱着時における温度変化の抑制、吸脱着性能の向上が可能であり、現在、自動車用キャニスターに採用、販売されている。PSA をはじめ温度変化がある吸脱着装置にも効果を発揮する。

(6) 講演 5 (15:45~16:30)

「堆肥等国内資源活用に対応した粒状加工」

朝日アグリア株式会社 肥料開発担当
浅野 智孝 氏

資源を海外依存している日本にとって国内資源である堆肥活用は重要ですが、施肥労力の問題があり機械施肥対応可能な粒状加工が求められています。堆肥の粒状化は物性的にも課題が多く、各種検討がなされています。粒状化対応の現状について、技術面から法的整備状況について紹介させていただきます。

(7) 講演 6 (16:30~17:15)

「SDGs に貢献する木質ペレット」

北海道立総合研究機構 林産試験場 利用部バイオマス G 専門研究員
山田 敦 氏

木質ペレットは木材を乾燥・粉碎し、押出造粒した小粒の成形燃料であり、カーボンニュートラルな燃料として注目されている。ここでは、その製造工程、品質規格、燃焼装置などについて最近の動向を踏まえて紹介する。

(8) 閉会の挨拶・連絡事項 (17:15~17:20)

休憩、会場移動 (10 分) 17:20~17:30

(9) 意見交換会 (中央大学にて実施) (17:30~19:00)

4. 定 員 50 名

5. 申込締切り 2024 年 2 月 16 日 (金)

6. 参加費 日本粉体工業技術協会会員 : 4,000 円 [うち消費税等 363 円]
非会員 : 5,000 円 [うち消費税等 454 円]
[消費税等込 / 税率 10%]

7. 登録番号 T8130005012383

8. 申込方法 次頁の参加申込書に記入いただき、事務局あてに FAX または e-mail にてお申込み下さい。

【申し込み先：造粒分科会事務局】

(株)ダルトン 粉体機械事業部 事業推進統括部 事業推進部 事業管理課 三谷 友紀 宛

E-mail : y-mitani-jwf5@dalton.co.jp FAX: 072-947-5221

9.参加費支払：お申込受付後、受領書と一緒に請求書を e-mail にてお送り致します。

下記銀行口座へ 2024 年 2 月 22 日（金）までにお振込み下さい。

京都銀行 新石切支店 普通口座 No. 1065164

口座名：小泉 一郎（コイズミ イチロウ）

※振込時の振込名に、「**会社名+姓**」の記載をお願いします。

（複数名分を一度に振込む場合は、代表者名の記載をお願いします。）

※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

※お振込み頂いた参加費は返金できません。欠席の場合は代理の方のご参加をお願い致します。

10. 注意事項

新型コロナウイルスの感染状況によっては、Web での開催、中止または延期となる可能性があることをご了承お願いいたします。

状況は、上記 E-Mail でお問い合わせ頂き講演会場への直接お問い合わせはご遠慮願います。

昼食を済ませてからご来場ください。

下記の参加申込書に記入いただき、下記事務局宛に FAX または E-Mail にてお申込み下さい。

以 上

切り取り

FAX : 072-947-5221

E-Mail : y-mitani-jwf5@dalton.co.jp

(株)ダルトン 粉体機械事業部 事業推進統括部

事業推進部 事業管理課 三谷 友紀 宛

2023年度 第2回造粒分科会 技術討論会 参加申込書

会社名			
(フリガナ) 氏 名			
部署・役職			
住 所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail		会員種別	1. 協会会員 2. 非会員
入金予定日		領収書	1. 要 2. 不要
連絡欄			

※ E-mailアドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。分科会開催のご案内のため、是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※ 事務処理上領収書の発行が必要な方は、領収書欄の「要」に印をつけて下さい。当日会場受付もしくは郵送にてお渡しします。

※ 個人情報の取扱いにつきましては、当協会規定にもとづき、日本粉体工業技術協会からの案内、分科会の運営及び管理にのみ使用致します。詳細につきましては、下記アドレスをご参照お願い致します。

個人情報のページ <http://www.appie.or.jp/privacy>